

2019WORLD ROWING UNDER23 CHAMPIONSHIPS REPORT 11 (7/28)

大会最終日。この日も非常に良く晴れ渡り、強い日差しが照りつけた。また日曜日ということもあり、Nathan Benderson Parkは多くの人が詰めかけました。

BM1xファイナルB

スタートから主導権争いをする各国に一步遅れつつ何とか続こうとするも、差はじりじりと開き始め、500m地点を6位で通過。その後もスピードにのることが出来ず差が大きく開きゴール。総合12位に終わったが、今できることはやり切ったレースであった。



出艇するBM1x 櫻間選手(NTT東日本)



必死に追いつけるBM1x。



ラスト200m地点で最後の力を振り絞り力漕するBM1x 櫻間選手(NTT東日本)。

BLW2xファイナルB

スタートから中国が飛ばすが、イギリス、日本も食らいつく。第2クォーターに入るとペースが落ちない中国がじりじりとリードを広げ始め、日本とイギリスが並びながら続く。1000mの通過は1位中国とは2.40秒差の2位。並ぶようにしてイギリスが続く。第3クォーター、中国のペースが落ちず、独走態勢を築き始める。日本とイギリスは変わらず激しい2位争いを繰り広げている。1500mの通過は中国と4.73秒差の2位。3位に続くイギリスとの差は僅かに0.36秒差。そして最後のクォーター、中国を追いつけイギリスをかわすために必死にペースを上げる日本。場内アナウンスもしきりに日本をほめたたえる。しかし各国も黙っているはずがなく、激しいスパートの応酬によるデッドヒートが繰り広げられた。結局イギリスにかわされ3位でゴール。悔しい結果となったがU23日本代表チームの最後にふさわしい堂々とした戦いぶりを見せてくれた。



イギリスとデッドヒートを繰り広げる日本(奥)。



U23日本代表チーム最後のレースにふさわしい気持ちのこもったレースを繰り広げたBLW2xクルー。左からS高島選手(明治大学)、B角谷選手(立教大学)

最終結果

BM1x	櫻間選手(NTT東日本)	総合12位
BM2x	遠山選手(日本体育大学)、木村選手(日本大学)	総合13位
BLM1x	新井選手(慶應義塾大学)	総合16位
BW2-	西田選手(明治大学)、高野選手(立命館大学)	総合8位
BLW1x	四方選手(鹿屋体育大学)	総合13位
BLW2x	高島選手(明治大学)、角谷選手(立教大学)	総合9位

今大会は、BW2-クルーの予選で強豪ドイツに先着しセミファイナルA/B進出を決める素晴らしいレースから始まり、BM1xもセミファイナルA/Bに進出と、これまでオープン種目で大きな光明を見出すことができました。選手たちは、この大会をとおり、かけがえのない経験を積むことが出来たと思います。その経験を今後一人一人がしっかりと自身の成長に活かしていくと信じております。選手たちの目は既に次の目標に向いております。どうかこれからも日本ボート界が一丸となって世界と戦えるよう応援よろしくお願い致します。

最後に今回の遠征にご協力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

「ご声援ありがとうございました」

～2019年U23世界選手権日本代表チーム一同～



後列左から 中上(チームリーダー)、吉田(ヘッドコーチ)、高野(BW2-)、角谷(BW2x)、四方(BW1x)、高島(BW2x)、西田(BW2-)、後藤(学生マネージャー)、武田(サポートコーチ)

前列左から 部谷(トレーナー)、遠山(BM2x)、新井(BLM1x)、木村(BM2x)、櫻間(BM1x)、今次(クルーコーチ)